

違法献金疑惑——自民・民主は政党としての自浄努力を發揮せよ!

「近所のみなさん、日本共産党です。」

政治とお金の問題で、政治不信を深めておられるのでは、ないでしょうか。

今日は、この問題を中心に、日本共産党の見解を、お話ししたいと思います。

みなさん。

民主党は、小沢代表の公設第一秘書の逮捕に続いて、今度は、小沢氏の元私設秘書で、小沢氏の政治団体「陸山会」の事務を担当していた、石川知裕・衆議院議員が、事情聴取されました。

自民党では、現職閣僚の、二階俊博・経済産業大臣が、「西松建設」に、大量のパーティー券を買ってもらっていたことが、明らかにになり、大問題になっています。

〇四年から〇六年の間に、「西松建設」側から、小沢氏側に流れたお金は、少なくとも三千三百万円。二階氏側に流れたお金は、八百六十八万円と、言われています。

二人とも、「西松建設」の隠れ裏団体ともいふべき、政治団体からの献金は認めても、お金の出所(でどころ)は「知らない」、「詮索(せんさく)しない」と、同じ言い訳を繰り返すだけで、まともな説明責任を果たそうとしていません。

これは、大問題ではないでしょうか。

しかも、みなさん。

「西松建設」側からお金が流れたのは、小沢氏や二階氏にとどまりません。

「西松建設」の、二つの隠れ裏団体を通じて、十年あまりの間に、四億七千八百万円もお金が、自民・民主の多数の国会議員に渡っていました。

ところが、民主党は、小沢代表の話を「信じる」と言って、「一致結束」しています。政府・自民党は、麻生首相が、「個別の事案についてコメントしない」と、自分で任命した閣僚の疑惑なのに、人ごとのような態度です。

これでは納得できません。

日本共産党は、小沢氏と二階氏が、みずからの疑惑について、誠実な説明責任を果たすことを、強く要求します。

自民・民主の両党が、政党として、疑惑を解明する自浄努力を發揮することを、強く、要求します。

そもそも、みなさん。

国民が疑惑を抱くのは、「西松建設」が、年間、約一千億円もの公共事業を、受け持ってきた企業だからです。

「西松」から政治家への献金は、国民の税金の環流といってもよいのでは、ないでしょうか。

公共事業の見返りを求めた献金・税金環流ではないかと、疑うのは、当然です。

自民・民主の「二大政党」が、そろって政党ぐるみで、疑惑隠しをするのは許されません。

とりわけ民主党は、「公共事業受注企業からの献金禁止」を公約に掲げてきながら、党首がそれに背いた事実を重く受けとめて、疑惑解明の自浄努力をするべきではないでしょうか。

「近所のみなさん。

日本共産党は、企業献金も政党助成金も受けとることなく、自前で活動しています。だからこそ、大企業にも堂々とモノをいうことができます。

大企業に雇用や社会保障、環境などの面で、社会的な責任を果たさせる、「ルールある経済社会」をつくるために頑張る、日本共産党を、よろしく願います。